

令和3年 12月の園だより

～子どもたちが主体的に意欲的に楽しんでいけるように～

今年も早いもので、残すところあと一か月となりました。今のところ、新型コロナウイルスの感染者が全国的に減少してきています。しかし、また新しい変異株が発生したというニュースが届き、これから年末年始に向けまだまだ油断できません。引き続き、園では感染対策に十分に気をつけてまいりますので、ご家庭でもお子さんの体調はもちろん、ご家族の皆さんの体調の変化にも、十分に気をつけてお過ごしください。

先月のふれあいの部屋では、お忙しい中、多くの方にご参加いただきありがとうございました。今回は0, 1, 2歳を通して、日頃子どもたちの遊んでいる様子や、食事の様子を動画でご覧いただきました。お子さん一人ひとりが映っている時間は短くなってしまいましたが、特に食事の場面では「子どもたちの成長がよくわかった」という声が聞かれ、少しでもお子さんの成長を感じ、見通しをもっていただける機会になったのではないかと思います。

今年は、6月より0, 1歳クラスでは、お部屋やテラスを開放して、子どもたちが好きな場所や好きなあそびを見つけて遊べるような環境を用意してきました。そして、先月からは新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたこともあり、2歳児さんも一緒にみんなでお部屋や公園で交流して遊んでいます。1歳児さんは、2歳児さんが遊んでいる様子を「何をしているのかな」と興味を持って見たり、真似っこして同じようにやってみようとする姿がみられます。2歳児さんは、「おにいさん、おねえさんだから」と手をつないであげたり、玩具を貸してあげたりするなど、はりきってお世話をする子もいます。時には、あそびを邪魔されて思うようにいか

ないこともあります。そんな時は、助けを呼んだり、ちょっと我慢したりするなど、小さいながらも、年上としての自覚がちょっぴり芽生えていて、子どもの成長や異年齢の交流の大切さを改めて感じています。

自分の好きなあそびや場所を見つけて遊ぶことはとても大事なことです。そうすることで、自らいろいろなことに興味をもって、「やってみたい」、「もっと遊びたい」という意欲が高まり、好奇心旺盛な子に育ちます。また、乳幼児期に自分の好きなことに没頭して取り組んだり、夢中になって遊んだ経験は、将来物事を粘り強くあきらめずに挑戦する力につながっていきます。

ただ、子どもの好きなことばかりさせ、何でも子どもの思う通りにさせてしまうのでは、^{わがまま}我儘で自分勝手な子に育ててしまいます。子どもが自分で気持ちを切り替えていけるようにするには、生活リズムを整えて、次は何をする時なのかを見通して行動できるようにしてあげることが必要です。大人の都合で生活リズムが乱れていることはないでしょうか。睡眠や朝食は十分に摂れているでしょうか。ベネッセ次世代育成研究所の調査によると、2歳までに「生活習慣」が定着している子どもほど、小学校以降の「文字・数・思考」や「学びに向かう力」が高い傾向にあるという結果がでて

います。今一度、ご家庭で生活リズムを見直していただき、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣をお願いしたいと思います。子どもたちが、生活やあそびの中で、様々なことに主体的に関わり意欲的に楽しんでいけるように、ご家庭と園が協力していきましょう。

園長



さら粉づくりに夢中なきりん組さん

のりをつけた上にさら粉をかけると...。何だか模様がでてきたよ

一緒にあそぼ!



きりん組さんと一緒に楽しいね。



乾いたら、パスでガリガリ塗ってみよう

